

アマダイ通信NO. 144

(Tile fish network letter)

2022年 コロナでも秋桜

知人・友人各位

ウクライナに侵攻したプーチンのロシアが思いのほか苦戦、独裁者の欠陥が如実。処罰を恐れ、歓心を買うため真実を伝えず、正しい情報が集まらない。他方絶大な権力を以てすれば誰もが思うがままに動くとは錯覚。戦力は思ったほどではなく、敵の士気の高さも掴めず。目的も行先も不明、大義なき戦争に動員される兵士は士気に欠け武器を捨て敗走、徴兵忌避の若者は国外に逃散。自慢のクリミア大橋も爆破され、ウクライナ全土へミサイル報復、インフラ破壊を狙う。兵器不足も言われ、核攻撃を脅しに使うが、ウクライナはひるまず戦う。世界はプーチンに真実を教え、核攻撃を止めさせなければならない。

◎ピロリ菌駆除でも胃に腫瘍！大腸にポリープ！

8月18日(月)にコロナが発症、41度の高熱を出し医療施設で診て貰えず、救急車でも運んで貰えなかった小2の孫息子も近くの聖ルカで点滴と坐薬を施し平熱に。母娘も大丈夫、●爺さんもコロナは大丈夫だが、思わぬところで、ショック！コロナで間遠になった検査を4年振り三楽病院で。14日のMRIに続き、21日(木)、食道、胃、十二指腸を内視鏡。戻る時時間がかかる。接合部が盛り上がり食事が通る時大変、盛り上がり金属のへらで削ぎ落とさないといけない食道がんじゃないといいと、初回入院時の同室の食道がん患者を思い出すが、胃に2ヶ所がんの疑いありと、モニターを見せて貰う。1ヶ所うっすら粘膜が赤く、1ヶ所には朱赤の鮮血、生体検査のため組織を採取。ピロリ菌は駆除済みで胃がんはなしと安心していただけが意外。ピロリ菌が荒らした駆除跡は年取ると再生せず荒れたまま、がんになりやすいとは初耳。径5センチの真っ赤な初発の大腸がんには比べ小さく、色も薄く可愛い。切ればその場で内視鏡で切り取るのか？内視鏡で取るには大きくなり過ぎたか？それでも切腹までする必要はなく、腹腔鏡手術で済みそう。

20数年前に手術したステージ3b(ほとんど治癒する見込みなし・余命半年)の径5センチの真っ赤な大きな腫瘍に比べ小さく、ピンク色の可愛いベイビー。がんも治らない病気でなくなったとつくづく思う。胃カメラを見ながら医者と患者が、映像を動かし話す。昔は患者に直接事実を告げられず、家族にだけ伝え、不治の病に家族が先ず涙にくれ、本人に伝えるべきか？いつ伝えるべきか？大いに悩む。何も事実を知らぬまま、苦しんで死出の旅に出る者も多かった。今は患者が検査台の上で医者に罹患の事実を告げられ、患者が家族にその事実を伝える。死の病ではなくなった証し。医学の大いなる進歩。

コロナでなければ4年もほったらかしにせず、もっと小さい段階で内視鏡で取れたと思うが、何よりも早期発見、早期治療。ピロリ菌駆除後も定期観察が必要なのだ。初発の大腸がんとは違い余命半年ということはないだろうが、完治出来るのか？出来ないとして余命は？今日がんとわかって昨日と今日の生活は変わらず。明日の生活も変わらず生き続けたい。だが命には限りがあり、その日を何処で迎えるか？事故、心筋梗塞などの突然死でなければ、病院のベッドの上ではなく、家族を巻き込み犠牲を強いる自宅での死でもなく、緩和ケアを受けながら、ホスピスで穏やかな最期を迎えられたらいい。鈍感人間も多少は考える。

東大三鷹寮同期、隔週毎の埼玉小川カントリーのゴルフ仲間、山川胃腸科内科院長にメール。文Ⅰの弁護士から理Ⅲの医師までソリューションの揃うところが、総合大学の寮の同窓会のいいところ。「いきなり切除はしません。病理結果を待ってから判断します。」とのこと。「早期胃癌の疑い有りとしても、内視鏡で切除できそう。これで一緒にゴルフ出来なくなるという訳ではなさそうです。ありがとう。」と返す。

全ての検査結果が出た9月、かつての命の恩人、ゴッドハンド、阿川先生の診察。大腸にポリープが一個見つかって内視鏡で焼切るが、大腸ポリープも胃の腫瘍も良性で手術不要。腹部、胸部CT、MRIも胆管結石以外異常なし。お腹が痛くなったら病院で胆管結石を取るように。80才まで1、2年に一度検査するようにと、無罪放免。90才まで生きますよ！と、同学の後輩、三楽病院の名誉院長が太鼓判。93才まで生きた親父を超えられるか？人の役に立ち如何に生きるか？どう死ぬか？がんで死ぬのも悪くないが最期がね！と阿川先生。モルヒネを使っても痛い。脳は後遺症の可能性があり、心臓がいいねで一致。

◎いつまでここにいの？終の棲家は？・・老人ホームの在り方

介護を巡る9月19日の平塚でのシンポジウム「団塊／全共闘世代の未来と課題～当事者の視座から『2025年問題』を考える～」で●●が「介護当事者」として基調報告。安田講堂での全共闘50周年同様、「地域共生を支える医療・介護・市民ネットワーク」全国集会とのタイアップ。百名の会場は立ち見客も。懇親会も盛り上がる。三鷹寮や駒場の仲間の年輪を重ねた懐かしい顔も。メアドがわかった古くからの●●通信の郵送読者にお礼のメール。Tさん、●●です、集会参加ありがとう。今まで●●通信を郵送していましたが、メアドをお持ちの方にはメールで送らせて頂いています。次号以降メールで送らせて頂きます。宜しくお祈りします。妻の介護の件、介護付き有料老人ホームに入って貰って一段落と思ったら、サニーライフ芝浦に不満タラタラで、一生ここにいの？と言われ、困っています。何か情報ありましたら、教えて頂ければと思います。

●●さま、一番町に住む友人（平塚に同行した後輩の女子）の友人男性（麴町に持ち家アリ）が要介護3の糖尿病患者で、現在、千代田区の特養「ザ・番町ハウス（二番町）」に入所しています。聞くところによると、高級ホテル並みの新築で、個室、サービス良さそうです。先日、肺炎で飯田橋の通信病院に運ばれたそうですが、胃ろうにも対応してもらえるので退所しないで、この特養のお世話になると決めたそうです。杉並区の住人にとっては、うらやましい限りですが、なんと空き室アリアリで補充の募集をするそうです。千代田区に移住されては如何ですか？

Tさん、メールありがとうございます。特養の個室はソファーやデスク、洗面、ウォシュレット付きのトイレがあり、テレビ、冷蔵庫も持ち込み可で、下手なビジネスホテルよりゆったりしています。その分入居費が高くなり、辞退する人がいて、意外と早く順番が回って来ます。自治体により大分違いがありそうですが、中央区でも学校などの建て替え、再開発、高層化に伴いタワマンに小中学校、保育園などと併設された特養が幾つか出来ています。妻も2、3度入居の打診がありましたが、辞退しました。特養は福祉施設で、自宅を所有、多少預貯金があると、利用料金が高くなり、現在のサニーライフ芝浦より高かったりします。何よりも、入居者の平均年齢が90歳と高く、寝た切りや認知症の進んだ方が多く、職員を介在しないとコミュニケーションが取れない、食事もフロア毎で、

1 階の食堂で集合して食べるサニーライフのように交流がありません。それでは手足に震えと痺れがあり、歩くのが不自由で車椅子に乗ってはいても、意識はしっかりしている妻には、不十分とは言え入居者同士交流のあるサニーライフの方がいいと思います。

それでも妻は食事が不味い、ヘルパーさんに外国人が多く意志疎通が上手く行かないなどと言い、特養の方がいいとか、リハビリの出来る施設で歩行器を使って歩けるようになって、自宅に戻りたいといいます。自宅に戻って、ヘルパーさんや食事宅配、訪問医療、リハビリ、ディサービスなどの介護サービスを利用、老々介護に戻っても、●が仕事を続ける限り、24 時間誰かが見守っている訳ではなく、倒れて骨折などの怪我で又、施設に入るのは明々です。入居に 2、3 千万円必要で、毎月の料金が 3、40 万円する、至れり尽くせりの高級老人ホームは無理なので、至難の技かと思いますが、高い入居一時金が不要で、介護保険のサービスを使っても妻の 18 万円ほどの年金+α で済む程度の料金の、妻の納得のいく有料老人ホームを探すしかないかと思っています。介護保険には随分助けられていますが、介護の必要な老人だけ隔離するような施設で集団生活するという政策の限界かと思っています。開かれた施設で多世代が集住、学生やシングルマザー、時に元気な年寄りが介護の必要な年寄りを世話しながら共住する、そんな施設はないでしょうか？

◎習近平の「共同富裕論」、中国共産党と中国の行く末

今日食べる米もなく、「郵便局の家」に一升の米を借りに来る、田畑を持たない日雇い暮らしの家の婆さん。親父が飲兵衛だと綿入れの敷布団もなく、木綿の袋に稲藁の節から出て茎を優しく包む、苞を押し込んで出来た柔らかい「マットレス」にガサゴソ潜り込んで、雪国の冬の夜長の厳寒をしのぐ漁師の家族。戦後のそんな東北の寒村の家々にも各々屋根、壁、戸の付いたポットトイレがあり、汲み出されて田畑の肥やしとなった。

90 年代前半、中国は山西省大同市の黄土高原、阪神淡路大震災を機に再会した三鷹寮同期の高見君が始めた中国は山西省大同市の黄土高原緑化 NPO 法人「緑の地球ネットワーク」(GEN) の資金集めに協力、環境庁、外務省、農水省、郵政省 etc、海外協力資金を持つ霞ヶ関の各省庁、団体を回る。要職につくかかっての三鷹寮や駒場の仲間を二人で再訪、快く協力を得る。それは●の人脈の錆落とし、ネットワークの再構築につながり、建築関係を主とした営業コンサルの仕事にも役立つ。

GEN は春夏二回黄土高原で植樹ツアーを開催、山西省大同市の農村を●も定期的に訪れる。赤貧洗うが如しというが、そこは貧しさを洗う水にも事欠く。浅い井戸から汲んだ水瓶にはミミズが泳ぎ、風呂がなくて我が家にもらい湯に来る近所の人もいたが、煮炊きや飲む水に困ることはなかった。黄土高原では水は貴重だ。結婚前夜と死出の旅立ちの時しか体を洗うことはなく、朝コップ一杯の水で顔を拭き、歯を磨き、最後家畜に飲ませる。日干しレンガを積み上げ壁とし、草葺き屋根の家とも呼びがたい 6 畳二間ほどの土間の一つを農作業やらに、一間に竈をおき煮炊き、排熱を床下に這わせオンドルとし、その上を食卓とも寝間ともする。土間には裸電球が一つ鈍く光り、小さな箱型白黒テレビがザーザー音を立て、オンドルの上にあかぎれた薄っぺらな綿入れの布団を敷き、毛布やら掛け布団やらにくるまり眠る。ホテルに泊まらず農家に民泊することも。トイレはなく庭の隅に 2、3m 立方の穴を掘り、細い丸木を渡す。丸木に跨がり月明かりで用を足す。落し紙などはなく、丸木にぶら下がった縄で尻を拭く。間違っって落ちたら最後、人の糞尿はおろか、

牛馬や豚、山羊、綿羊、鶏やらの糞尿まみれ、ゴミや残飯の仲間ともなる。60年代半ばから70年代半ばの文化大革命期、習近平はそんな極貧の農村に首都北京から下放、多感な青少年期を過ごしたと言う。

90年代の黄土高原、町のホテルのシャワーでさえ、お湯はおろか水も出ない、水洗トイレが流れないことも。農村での1日以上为民泊は耐え難かった。戦後間もない秋田の寒村の生活の方が、はるかに文化的、衛生的で豊か。文化大革命期の厳しい農村生活の体験者であれば尚更、どうにかしたい！どうにかしなければ！と、若き日の●同様、いやそれ以上に「革命」への思いが募っただろう。反体制と体制内革命の違いはあっても。よく学び、よく働き出世街道をひた走り、遂に中国共産党のトップに。時至る！の想いか？老小平は社会主義市場経済と先富論を旗印に外資に市場を解放、外国からの資金と技術を導入、安い労働力を武器に世界の工場として経済を発展させ、次いで海外から人材と技術も呼び込み、技術大国・IT 大国に変貌、遂には日本の GDP も凌駕、アメリカに次ぐ経済大国となる。日米欧の先進資本主義国は経済発展して豊かになり、中間層が増え、中国も自由化・民主化が進むと勝手に期待。しかし中国共産党総書記として中国のトップについての習近平は中華民族の復興を旗印に富国強兵路線を進め、反腐敗運動で自身へ権力を集中、共産党独裁を強め、先進資本主義国の漠とした自由化・民主化期待を完全に裏切る。

権力を一手に握った習近平は老小平以来の、豊かになれる者から先に豊かになるという「先富論」を捨て、国民が皆一緒に豊かになる「共富論」へ舵を切る。下放した農村で、●が育った日本の東北の寒村以上の極貧を目の当たりにした習は、●同様いつの日か自分一人豊かになるのではなく、貧しい人々と共に豊かになろう！と心に固く決めたのだ。頭脳明晰で心優しく、正義感溢れる青少年なら至極当然な選択。しかし一人は体制に刃向かい社会の階梯を外れ、牢獄に繋がれる。今一人は体制に忠誠を誓い、社会の階梯を駆け上り、ついには政権党と国家のトップに。若くして下放された時の、「共に豊かになる」誓いを実行に移す時が来た！中国は経済大国として発展、格段に豊かになった。格差も拡大したが、底辺も底上げされ、今や食べる物に事欠く者はいない。上層の富を削り、下層に分配すれば、下層も豊かになり活発に消費、消費が増えれば供給も増え、経済は更に活性化、上下共に富み、中国はもっと豊かになる！「共に富裕になる」時至る！今では「人民経済」という言葉すら語られる。財産の共有制を敷き、企業は社会全体の発展を追求するという人民経済は、計画経済を想起させ、国内でも反発の声があがるという。

それは又、「能力に応じて働き、働きに応じて取る」社会主義の段階から、「能力に応じて働き、必要に応じて取る」共産主義社会の実現に向けた第一歩。毛沢東の文化大革命も又、「人間の魂を変える！」革命として、一国内で共産主義社会の実現を目指したが時期尚早、混乱の末潰えた。遙か紀元前に孔子は「衣食足りて礼節を知る」と説く。毛沢東の中国は未だ衣食に不足。中国が経済大国となり、衣食に欠けることがなくなった今、14億の民は共に豊かになり、礼節を知る民へと自らを変え得るか？自由と民主主義、成熟した資本主義の段階を経ず、社会主義さらには共産主義社会は到来可能か？習は毛を、レーニンをも超え得るか？自由と民主を制限、独裁を強め、創意工夫の芽を摘み、意欲を削ぎ、競争を歪め、共産主義どころか中国経済自体が停滞、さらには衰退に向かうのか？

◎中2の孫娘と久し振り丸善へ！自学自習の●塾！

山村留学の伊那の阿智村の浪合小学校から戻り、近くの晴海中学より小振りの佃中学の一年生になった孫娘と、土曜日夕方久し振り東京駅の丸善に。小2の孫息子はユーチューブでゲームに夢中、丸善には同行せず。学園ロマンやミステリーの新文学だけでなく、新書・文庫コーナーでもライトノベルの分野に近いと思うが、文庫本も選ぶ。関心の範囲が広がる。興味のある分野の大判のデザイン書も2冊ほど選び、都合23冊買って上げ、東京駅地下のすし好でサビ抜きとワサビ付きと別々に頼み、好物の寿司をつまむ。爺さんはビールを手酌、食べ終えた孫娘は買ったばかりの本を手にも夢中、至福のひと時。身長も155センチ、娘と並ぶようになり、違うジャンルの本に食指が伸びたのは嬉しい。

娘がみてやってよ！というので通知表も見せて貰う。本人は屈託ないが、お爺ちゃんは複雑。授業を聞いて宿題やって、暗くなれば海山から帰り読書の毎日。EかFクラスまであり200だったか250人だったか？音痴でも3の音楽、素潜りとマラソンは得意でも、短距離は遅く、懸垂と蹴上がりが出来ない腕力不足の体育、図工は3だったが、英数国理社は断トツのオール5の野生児優等生、郵便局の革ちゃん。1学年70人の佃中学で5の他に4もチラホラ。塾などなくて、明るい内は外で自然と戯れ、暗くなってから読む本のある家と本のない家の子に分かれた結果のオール5か？本の有る無しで家庭環境で分岐するのか？古来「先達こそあらま欲しけれ」と言うが、今は習い事も塾通いもせず自力更生の孫娘。到達度評価がオールAでも相対評価はオール5とならず。上には上、どこまで一人で頑張れるか？爺ちゃんは英数国理社はオール5だったと自慢する訳にいかず、よく頑張ったね！すごいね！という孫娘もニコニコ。廃校になった一学年一クラス40人の岩館小学校、八森中学校、能代高校、東大と、「辺境」から紛れ込み、いつの間にかいつも真ん中で大きい顔をするようになっていた爺さんは、本を買ってあげるだけ。

カンカン照りの日曜日の小川カントリー、2組6人で楽しくプレー。今は絶対評価の筈だよと、三鷹寮で1年後輩、元文科省文化庁次長の伊勢呂君。科目の評価で3分野全部Aでも4の教科もあったよという、まだ相対評価があるんだと驚く。伊豆の中央区立宇佐美学園から伊那の浪合小学校と、自然豊かな少人数の学校で、自然と親しみのんびり育て来たが、原石のままで磨きが足りず、伸び代が大きい分可能性大。楽しみだ。

春休み、参考書買ってやってよと娘が言うので、孫娘と丸善に。学年毎ののがいいか？3年分扱ったものがいいか？聞くと3年分がいいという。懐かしいチャート式など幾つかある中で、英数国理社の厚目、解説の詳しい「自由自在」のシリーズを選んでやる。教科書予習して解るようだったら、自分でどんどんやってみるといい、解らない所はお爺ちゃんが教えるよと。解いた問題には○×をつけ、解らない所は先生に質問するなど徹底理解。2回目、3回目は×のついた問題だけやれば、短期で効率的に受験勉強も出来、塾に行く必要もない。空いた時間は読書に勤しみ、自然と親しみ、友と遊び人格を磨く。三鷹寮の後輩をみても、若年から知識詰め込みの受験勉強のやり過ぎ。「遊び」が必要だ。廃校になった小中学校、教科書を板書するようにつまらない授業が多く、自学自習するしかなかった能代高校を経、どうにか東大文Iに引っかけた、タフだがはみ出してばかりの●式勉強法。新聞の折り込みに「行こう！難関大。『自学自習』の武田塾」とある。合格体験談は慶大合格の2名、難関国立大や医学部合格実績はなさそう。「武田塾はインプット（基礎固め）とアウトプット（問題演習）」とあり、●式に近いが不徹底。教科書を読めば判る生徒を集めるのは難しいのか？三鷹寮の後輩を講師に、「教えない塾」を創り、

三鷹寮の若者には効率のいいバイトを提供する。趣旨に賛同する方いませんか？

◎こんな海つまらない！房総より白神の海が良くて、長雨には勝てず！

8月半ば、娘と孫二人を連れ久し振り故郷白神素潜りツアーの予定が、雨天続きの予報でキャンセル、鴨川の海に誘う。昨夏天候の悪い時に孫二人と江見の海で遊ぶが、中1の孫娘がこんな海つまらない！と言い、今回も🐙の誘いに乗らず。お姉ちゃんが一緒にないとシスコンの小2の孫息子も行かない。今年こそ白神の海で素潜りをと満を持すが、孫達は娘の友達家族と湯沢岩原スキー場のマンションに泊まり、苗場や上越国際の野外大プールを楽しみ、魚野川で川遊びとバーベキュー。下旬には長岡の花火も楽しむ。🐙一人週末に江見で渚のサイクリングと読書に勤しみ、夜居酒屋桜で手酌酒。

無人駅岩館の白神の海で夏は朝から日暮れまで素潜り、時に家族総出で自家製味噌と畑で獲れた野菜、お握りやらを青森県境の「秘境」までリヤカーで運び、子供達が潜って捕まえたアイナメやアワビ、サザエと一緒に鍋に入れ、陽射しを避け、巨岩の陰に石をコの字に並べ竈を作り流木を集め、鍋の中の取れたて山海の幸と一緒に味わう。畑で採れたばかりのトマトやキュウリも湧き水に冷やし頬張り、スイカ割り。今流行りの究極のアウトドアライフを遠い昔に家族で楽しむ。春秋もアイナメ釣り、ワカメ拾い、冬も海苔を摘み、刻んで海苔漉き、乾かして出来た厚目の板海苔はお握りに化ける。竹竿の先の柳の枝で絡め採ったアオサはみそ汁の具に、湯がくと褐色から鮮やかな緑に変色、粘るギバサ（ホンダワラの若芽）も味付けしトロロの様にして食べる。海の幸はお腹の糧になるだけではない。雪解けの頃、温かな春の陽射しを浴び、船に寄りかかり、光る海を眺めながらの読書、釣り竿の先をじっと見遣りながら物思いにふけるなど、心の糧にもなった。

そんな白神の海の幾分かでも孫達に体験させたい！成長の糧になれば！と探した鴨川は江見の磯だったが、今は爺さんが一人通う。白神の海は雄大な岩浜で砂浜は少なく、多少荒れても海は綺麗で視界が利くが、江見は砂が巻いて先が見えない。小学校に上がる前からそんな磯浜で孫娘にサザエの取り方やアワビの見つけ方を教え、「海女ちゃん」にしたものだから、よほど白神の海が気に入ったよう。皆さんも一度といわず二度、三度、四季を変え🐙の故郷白神、人気ローカル線、五能線の旅を、楽しんで欲しい！

◎老後作戦、トンチン保険は褒めて貰うも、鴨長明になれず、夜毎枕濡らす！

8月末東京海上あんしん生命の企画担当者も同席、永野東京海上ホールディングス会長・経団副連会長にイタリアの銀行家の名を冠した終身年金保険、「トンチン保険」について話させて頂く。同世代の多数の者が、二千万円どころではない金融資産を持ちながら、エンドがわからないが故に折角のストックを使えず、豊かな消費生活を楽しむことが出来ない。個々人にはエンドがわからないが、世代としては統計学的にエンドが確定出来、終身給付の年金額に対応する掛け金も算定可能。現に日本生命や郵政の簡保には終身年金保険に近いものがあり、🐙も日生のそれに加入。トンチン保険で安心して暮らせる終身年金を確保、高齢者が余裕の金融資産を消費に回し豊かな老後を送れば、日本経済低迷の主因たる消費不足を緩和、日本経済の振興に貢献出来る。少子高齢化、自動運転車の普及で市場縮小する損害保険業界にも業容拡大に繋がる。子会社のあんしん生命で新規に取り組むことを提案。あんしん生命も検討されているようだが、世代毎のエンドの確定が難しく、

預かった掛金の長期運用も至難で踏み切れないよう。優秀な社員の叡智を集め、リスクを取り、運用を計れないか？優等生集団でリスクを取りにくいのか？永野会長からは、●さんはいい時期にいい保険に入ったと、日生の終身年金保険への加入を誉めて頂く。

独居老人には広すぎ、昨年同じマンションの85平米から57平米の方丈の庵に引越す。嫁入り道具や和服やら、神様の物は捨てることは出来ても、積ん読だけの本も含め自分の物は捨てられず、狭すぎて再引越の羽目に、鴨長明にはなれず。建築営業でもお世話になる、能代高校同期小野寺住友不動産会長に頼み、又もや仲介手数料半額の大サービス、晴海の同じマンション内で少し広めの部屋を探して貰う。南東レインボーブリッジ向き9階の68平米の2LDK 売値7180万円を7000万円で指値するも、7100万円ならということで頓挫。東南オリンピック村向き19階72平米の3LDK7580万円を同じ平米単価の7400万円で指値しようとする、週末思う様な引合いがなかったようで、68平米の2LDKを7000万円でいいという。3LDKを7200万円で指値し結論を出すことにするが、そこまでは下げられないという。9階の68平米を7千万円で買うことに。1年の間にバブルで更に値上がり、85平米を7800万円で売り、1年後68平米を7千万円で買う羽目に。手数料や経費を入れると、85平米と68平米を等価交換する愚。私馬鹿よね！と枕を濡らす。

北西東京タワー向き4800万円で買った57平米の1LDKが幾らで売れるか？こちらが指値される番だが、売って無利子で銀行に預けておくよりも、売らずに賃貸に回した方が賃料も稼げ、老後資金の足しにならないか？手元の老後資金は手薄になるが、しばらく老後レスで働けるなら困らない。利に疎い●だが、北の海底の鈍間な鮫鱈の提灯のように閃く。越後湯沢の温泉街にマンションをゲット、働けなくなり東京にいる必要がなくなれば温泉三昧、マンション一戸ではなく、二戸の賃料からの収益を年金代わりに出来、サラリーマン生活が短くわずかな公的年金を補い、老後に多少余裕が出来ないか？向こう見ずの元革命青年にもようやく渡世の知恵が多少働く。バブル崩壊真近か？インフレの波高い時にリスクを取って行動するのは、吉と出るか？凶とならないのを祈るのみ。

◎BBQ、炎天下、ポジティブ思考でひた歩き！


草野球のグラウンドが4面取れ、週末にはご近所が野球やらを楽しんだグラウンド部分は三鷹市に売却、防災兼用の農業公園に姿を変え、その金で新しい寮が6棟建つ。元は近衛の練兵場、半分の広さになったとは言え三鷹寮の敷地はまだ広い。MSC（自治会）のメンバーの21年入寮の大嶽君、星野君主宰の農業クラブの収穫物と16年入寮の小林君のジビエの会、学内サークル狩人の会とジョイントのバーベキューを、期末試験も終わった8月2日（火）に武蔵野の公園で開催。21人参加予定でも、試験が終わって夏休み突入、帰心矢の如し、参加人数は予定より大分少ない14人ほど。三鷹寮交流史の1ページを飾るイベントとして、その分濃く交わる。

三鷹寮農園で足りない物は前日一年先輩で三鷹寮近くに済む辰さんが車を出し、農業サークルの皆さんと買い出し。費用は0Bの寄付から。小林君提供の猪、鹿、カラスの肉と合わせ、一通り揃う。カボチャもあると良かったが、カボチャはほったらかしでも育つので、食べた種を取っておいて、来年は仲間に入れてあげたい。


朝一でアポが一つの●は野川公園で皆と合流、バーベキューをと、高架化で半世紀前とは様変わりの武蔵境で西武多摩川線に乗り換え、2駅の多磨で降り、タクシー走らせる

が誰もいない。会場は隣接の武蔵野公園、かつての国際キリスト教大学の（占領軍の）ゴルフ場。その前身は中島飛行機（現 SUBARU）の軍用航空機工場。タクシーを呼んでも来て貰えず。いい運動になるとポジティブ思考、隣接とは言え、広い野川公園を端から端まで歩き武蔵野公園へ。多磨駅前のローソンで買ったサッポロ黒ラベル半ダースも一緒に歩く。帰り西武多摩川線の新小金井駅まで歩こうと、間違えて熱波の中を中央線の東小金井駅まで歩き、1日で17500歩。いい運動になったと得意のポジティブ思考。

日本農業の衰退と「害獣」のばっこは裏表、害獣だけ駆除しても農業が衰退したままでは無意味。逆に農業が盛んになり、農地の再利用、高度利用が進めば、駆除もしやすく、人獣の住み分けも進む。小林君は農地の荒廃が進む伊豆と房総で、若い仲間と害獣駆除を進める。江見の居酒屋桜で二度ほど飲む。

参加者は小林義信（2016・理Ⅱ 農・フィールド科学・水戸第一）、旭博佑（2019・理Ⅰ工・精密工学科進学予定・久留米大附設）、角田晴香（文学部4年・真和）、大嶽努和（2021・理Ⅱ・熊本）、大竹瑞希（理Ⅱ2年・新潟）、大塚裕貴（2021・理Ⅰ・大分上野丘）、嘉喜柊杜（理Ⅱ2年・開智未来）、川中厚之介（理Ⅰ（2年）・岡山操山）、林尚志（2021・文Ⅰ・静岡）、星野佳嗣（2021・理Ⅰ・南山（男子部））、安井ことみ（2021・文Ⅲ・四日市）、網敷悟至（2022・理Ⅱ・清真学園）、友井寧音（2022・文Ⅲ・熊本）、廣畑圭太郎（理Ⅱ1年・西大和学園）、藤田敦也（2022・理Ⅰ・灘）、藤田小哲（2022・文Ⅲ・静岡）、安田旬輝（文Ⅱ1年・岡崎）、Alaa Jad（2020・GSFS, Molecular Medicine・Egypt）、Nutchanon Taechasuk（理Ⅰ1年・Mahidol Wittayanusorn）、（1966・文Ⅰ法・能代）、辰紘（1965・文Ⅰ教養・教養学科国際関係論・三国丘）。

◎味は文化です！ロシアレストランでランチ

9月11日（日）11時半から、歌手の加藤登紀子さんファミリー経営のロシア料理店『スングアリー 新宿三丁目店』で、ロシア、ウクライナ、ジョージア料理を楽しみ、リアルで交流。アルコール抜きの締めは、三種類のジャムで味わうロシアンティー。味は文化です！微妙に違うスラブ文化と舌で交流！参加者は徐博晨（2014・総合文化研究科国際社会科学専攻 博士コース・北京大学）、旭博佑、星野佳嗣、芋畑邦昭（2022・理Ⅰ・三国丘）、洪運蘊（2016・理Ⅰ工・建築学科・北野）、園田夢之介（2015・文Ⅲ教養・学際科学科・北海道帯広柏葉）、松沢陽一（1968・理Ⅰ工・航空学科・高岡）、。

◎想像力不足！？（結びに代えて）

8月に通信143号を郵送読者千人、メール読者4千人に配布。読者から感想や連絡も。全共闘仲間のIさんから電話。糖尿病で長年人工透析、気をつけていたが、転んで怪我、感染症を併発、右足をつま先から切断、杖をつけて歩いていると。元気者だが、年のせいで切断した脚の傷口がふさがらず、毎日洗浄すると、大分気落ちのよう。

このところ夜中一度目覚めてからの寝酒を飲まない。人工透析まではまだ間があると高をくくっていたが、血糖値が高く高血圧の他に糖尿病の薬も飲む。以来夜中目が覚めてからの寝酒を止める。10月頭、小川カントリーで体重計に乗ると、2キロ減の68キロ！身近な仲間の窮状を目の当たりにしてようやく深刻さを知る鈍感さ、想像力不足。再見！